

# 山岳地域の水資源管理と洪水軽減のための持続可能な森林管理

*Sustainable forestry for water resources management and flood mitigation in mountainous regions*

平成19年7月28日

名古屋大学 野依記念学術交流館

名古屋



## 開催趣旨

世界各地で、森林の管理や施業が、森林流域における水資源と洪水軽減に与える影響について、議論されてきている。しかし、これまでの議論の多くは自然科学的な視点からなされたものか、もしくは社会経済学的なものいずれかに傾倒してきたため、流域管理における森林の役割について自然科学と社会科学相互に議論した事例はほとんどみられない。

わが国では、現在、ヒノキの一斉人工林の表面流や表土侵食の発生が深刻化している。わが国のヒノキ人工林の多くは、高度経済成長期である1960年代の木材とパルプへの高い需要により造成された。その後、安い木材を産出するアジアの発展途上国との国際競争に押され、我が国の林業は衰退し、ヒノキ人工林は放置されてきた。放置されたヒノキ人工林では、高い密度の樹冠により林内の光環境が悪化し、下層植生の発達が貧弱となっている。そのために、森林土壌は無機土壌が露出した状態となっている。このような森林土壌では、雨滴侵食や土壌表面のシーリングやクラスト形成が起これ、結果として森林土壌の浸透能の低下を引き起こしている。

当シンポジウムの目的は、特に森林流域の水資源問題と洪水軽減機能について、科学と森林管理の両面から議論を融合することである。具体的には、樹木や土壌表面の状態、森林施業の方法が河川流量に与える影響について多角的な発表を基に議論を行う。それらを踏まえて、今後の適正な林業や水資源管理の立場より、森林管理のための指針、政策立案、管理手法についての議論も進めていく。

## 主催組織

JST/CREST 森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化

JSPS 青の革命と水のガバナンス

## スケジュール

日程：2007年7月28日

場所：名古屋大学野依記念学術交流館

([http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map\\_higashiyama/higashiyama\\_center.html](http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/higashiyama_center.html))

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| 9:00-9:30   | 開始                 |
| 9:30-12:30  | セッション1:流出量の発生と土砂移動 |
| 12:30-14:30 | 昼食・ポスターセッション       |
| 14:30-17:30 | セッション2:流域管理と政策     |
| 18:00-      | 歓迎会                |



## 招待講演者

### セッション 1: 水流出と土砂移動

Jim Buttle (Trent University, Ontario, Canada)

カナダだけでなく世界中で森林と流域管理の豊富な経験を持つ水質水文学研究者。

ホームページ: <http://www.trentu.ca/academic/geography/JMButtle/>

Charles Luce (USDA Forest Service, Boise Colorado, USA)

森林管理と土地利用を考慮した水文地形のスケーリング効果などの問題に取り組む研究者。

ホームページ: <http://www.fs.fed.us/rm/boise/research/watershed/bio/luce.shtml>

Roy C. Sidle (Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Japan)

森林管理と土地利用に配慮した水文プロセスの研究と土砂移動の研究に取り組む研究者。

ホームページ: <http://www.scs.dpri.kyoto-u.ac.jp/users/sidle/sidlewebpage/newpage.htm>

### セッション 2: 流域の管理と政策

Ge Sun (USDA Forest Service, North Carolina, USA)

土壌侵食や土砂移動と土地管理および林業の関係について研究に取り組む。

ホームページ: <http://www.srs.fs.usda.gov/staff/229>

Ian R. Calder (Newcastle University, UK)

世銀DFIDの援助を受けて、土地利用と水資源管理の関係についてインド、南アフリカ、コスタリカ、タンザニア、グラナダ、パナマで研究する。

ホームページ: <http://www.ncl.ac.uk/environment/people/profile.htm/i.r.calder>

Koichiro Kuraji (University Forest in Aichi, University of Tokyo, Japan)

日本および東南アジアで、水文プロセス研究、水資源管理、水紛争、水に関わる政策について研究する。

ホームページ: <http://forester.uf.a.u-tokyo.ac.jp/~kuraji/>

## 参加登録方法

無料

### ポスターセッション

ポスターセッションは、同日12:30より14:30に開催。

ポスター発表の希望者は申込み用紙に必要事項を記入の上、2007年7月7日まで指定の住所へメールまたはFAXをお送りください。ポスターは、日本語(英語が望ましい)または英語でご用意下さい。

ポスターのサイズは、幅841mm、長さ1189mmの範囲内。

### 歓迎会

シンポジウムの後、軽食と飲物による歓迎会が開催されます。参加希望者は申込み用紙に必要事項を記入の上2007年7月7日までに指定のあて先へ、メールまたはFAXにてご連絡下さい。

### 現地検討会 (July 29, 2007)

2007年7月29日に東京大学愛知演習林での現地検討会が開催されます。

参加希望者は、申込み用紙に必要事項を記入の上2007年7月7日までに指定のあて先へメールまたはFAXにてご連絡下さい。現地検討会の詳細情報(集合時間、場所)は後日、ご連絡いたします。

注:参加者とポスター発表者のための宿泊設備と移動手段は各自お手配願います。

---

---

## オーガナイザー

恩田裕一

筑波大学

生命環境科学研究科

Phone +81-50-5534-8324, Fax +81-298-53-4226

E-mail: [onda@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:onda@geoenv.tsukuba.ac.jp)

蔵治光一郎

東京大学大学院

農学生命科学研究科付属演習林愛知演習林

Phone +81-561-82-2371, FAX +81-561-85-2838

E-mail: [kuraji@uf.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:kuraji@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

## 野依記念学術交流館へのアクセス



名古屋駅より約 20 分

地下鉄東山線，本山駅にて名城線右回りへ乗換え，名古屋大学駅下車

中部国際空港(セントレア)より約 1 時間

中部国際空港駅より，名古屋鉄道にて名古屋駅，金山駅にて地下鉄に乗り換え。



# 申込み用紙

## ポスター発表者，歓迎会，現地検討会

必要事項を記入の上，下記連絡先へFAXかE-mailにてお申込み下さい。

申し込み期限  
2007年7月7日

申込み先 平館芳栄（ひらたて よしえ） E-mail: hirata@geovt.tsukuba.ac.jp TEL 029-853-7192 TEL/FAX 029-853-4226
--

### 参加登録

ポスター発表,歓迎会, 現地検討会

名前:

ご所属:

E-mail:

電話番号:

ファックス:

### 1. ポスター発表

( Yes , No )

( Yes と答えた人はお答え下さい。 )

ポスター発表のタイトル

( )

発表者のリストと所属

発表者( )

所属 ( )

### 2. 歓迎会の参加

( ・参加 ・不参加 )

### 3. 現地検討会(東大愛知演習林：平成19年7月29日)

( ・参加 ・不参加 )